令和6年度 学校評価アンケート集計

A:できる(している) B: どちらかといえばできる C: どちらかいえばできない(していない) D:できない(していない)

1. お子さまは幼稚園を楽しみに登園していますか

設問1	A	В	С	D
教職員	42%	58%	0%	0%
保護者	67.6%	26.1%	5.3%	1.0%

2. お子さまは自分のことを自分でできますか

設問2	A	В	С	D
教職員	42%	40%	18%	0%
保護者	36%	55.9%	7.1%	1.0%

3. お子さまは自然の中で元気に体を動かして遊べていますか

設問3	A	В	С	D
教職員	32.8%	67.2%	0%	0%
保護者	59.5%	32.4%	8.1%	0%

4. お子さんは家庭や身近な人に自分から挨拶ができますか

設問4	A	В	С	D
教職員	42%	58%	0%	0%
保護者	43.2%	42.3%	13.5%	1.0%

5. お子さまは幼稚園のことや友達のことを話しますか

設問5	A	В	С	D
教職員	42%	58%	0.00%	0.00%
保護者	67.6%	26.1%	5.3%	1.0%

6. お子さまは家族や友達の気持ちを考え、共感してあ げることへできますか

設問6	A	В	С	D
教職員	42%	58%	0.00%	0.00%
保護者	67.6%	26.1%	5.3%	1.0%

7. お子さまは園の行事に楽しんで参加していますか

設問7	A	В	С	D
教職員	75.6%	24.4%	0%	0%
保護者	82.6%	14.7%	2.7%	0%

考察

幼稚園を楽しみに登園している子どもが8割2割の子どもが不安をかかえて登園している事が伺える。園児全員が笑顔で登園できるように子どもに寄り添い、子どもの声に耳を傾けまた、子どものできたをたくさんみつけていきたい。

考察

時間をかければできる子どもが多いので保育士がまつ。 子どもが粘り強く最後まで頑張れる環境、時間を作りた い。

考察

園周辺を散歩、公園でどんぐり、松ぼっくりを拾い、行事 に生かすこと事ができた。また、収穫祭として大根堀り、 さつまいも堀り、みかん狩りの後みそ汁、カレーを作り全 園児で食べた。四季を感じられた。

考察

しつけの三原則である挨拶、目と目と合わせ挨拶すること に意識をし、うながさなくても挨拶ができるように声をか けていきたい。

考察

友達同士でのコミュニケーション、関わりの深さが感じられる。また、園での出来事等、保護者に話ができている事も嬉しく思う。コミュニケーション不足を感じていたが、子ども同士や家族の中、または、保育士とのやりとりをこれからも増やしていきたい。

考察

子どもとの会話の中で、家族のことの話の中で心配する言葉、嬉しかった事などよく聞く。また行事等経験を重ねるたびに友達との絆が強くなり寄り添う姿がみられる。

考察

行事の見直しをし、保育士が行事に対して子どもにどんな事に関心を持ってもらえるか、もらいたいかを行事をすすめる前から考える必要がある。これからも子ども主体で行事を進めていきたい。